

粧工連通知 2021004 号

2021 年 10 月 15 日

日本化粧品工業連合会傘下会員各位

日本化粧品工業連合会  
技術委員長 北垣 雅人

紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準に関する留意事項について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、「日本化粧品工業連合会紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準の制定について」  
(2021 年 10 月 15 日粧工連通知 2021003 号) により耐水性測定法の自主基準が制定されました。

今回自主基準として取り入れられた ISO 18861 は、ISO (国際標準化機構) の IS (国際規格) として発行されたものであり、今回の自主基準の制定により、国内の耐水性表示が統一され、定着していくことを期待しております。

このたび、自主基準の制定にあたり、本自主基準をもとに耐水性表示を行う際に、特に留意いただきたい事項を取りまとめましたので、ご連絡させていただきます。

敬具

日本化粧品工業連合会  
紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準に関する留意事項

1. 耐水性試験について

ISO18861（耐水性試験）を含む本基準の概要については、別添を参照してください。また、試験での水浴条件として40分、80分以外の時間を設定しないでください。

2. 耐水性の表示について

本基準に基づく耐水性を製品等に記載する際は、メイクアップ化粧品の化粧持ち効果に関する耐水性との混同を避けるために、必ず SPF と併記するようにしてください。同時に PA 表示も行う場合には、SPF、PA、耐水性の3項目を併記して頂くことになります。（下表1参照）

表1：UV耐水性の表示例

記載例※	説明
SPF25 UV耐水性★	UV耐水性を記載する上でSPFの表示は必須ですが、PAの記載は必須ではありません。
SPF50+ PA+++ UV耐水性★★	SPF、PA表示に併記されていれば、SPFと隣り合っ て記載する必要はありません。
SPF22・UV耐水性★・PA+	横並びで書いてもかまいません。
SPF10 UV耐水性★★ PA+	2段で書いてもかまいません。
UV耐水性★★ SPF50+ PA++++	SPF表示より前にUV耐水性を表示してもかまいません。

※UV耐水性の表示は、UV耐水性★はUV耐水性☆、また、  
UV耐水性★★はUV耐水性☆☆と表示しても良い。

また、以下のことにご留意ください。

- (1) 耐水性の有無の判断の際に用いる耐水性（SPFの保持率）（%Water Resistance）の平均値の90%信頼限界の下限値、あるいは耐水性（SPFの保持率）（%Water Resistance）の数値を製品等に記載しないでください。
- (2) UV耐水性★★★といった表記や本基準に基づいた耐水性表示に代えてウォータープルーフをSPFと併記するなど、本基準とは異なる表示はしないでください。
- (3) SPFと併記してUV耐水性を表記するのとは別に、他の箇所に紫外線防止効果についての耐水性を示す異なる表現を追加記載することは差し支えありません。ただし、ISO18861以外の方法で評価した耐水性の結果を示すことや耐水性の高さに関して本基準以外の水準があるような誤認を与える表現はしないでください。
- (4) 本基準は皮膚の外側からの水に対しての耐久性を評価するものとなっています。そ

- のため、本試験法の結果をもとに汗に対する耐久性についての表記はしないでください。
- (5) 紫外線防御用製品に対する耐水性の表示は必須ではありませんが、ウォータープルーフなどの耐水性を意図する表示・広告表現を行う場合は、SPF 表示に併せて本基準による耐水性表示を行うようにしてください。
- (6) 水浴後の紫外線防止効果の強さは、耐水性のみではなく、元の SPF の高さにも依存するため、本基準の耐水性表示と SPF 表示とを合わせて表記することで正しく伝えることができます。そのため、UV 耐水性のみ強調して表示することはおやめください。

### 3. SPF 値の表示について

製品等に耐水性を表記する際に併記する SPF 値は ISO18861 にて測定される水浴前の SPF 値に基づいた表示をしてください。同時に得られる水浴後の SPF 値は表示しないでください。

### 4. 本基準に関わるスケジュールについて

本自主基準発効日は 2022 年 12 月 1 日 となります。これより前に本基準にしたがった表記を行う商品を発売しないよう、ご注意ください。

また、本自主基準への経過措置期間として、基準発効日となる 2022 年 12 月 1 日以降 2 年間は従来の各社基準による耐水性表記を行った商品の出荷を可能と致します。2024 年 12 月 1 日以降は各社基準にしたがった表記の商品の出荷は差し控えてください。

また、本基準に関わるスケジュールは下表 2 を参照してください。

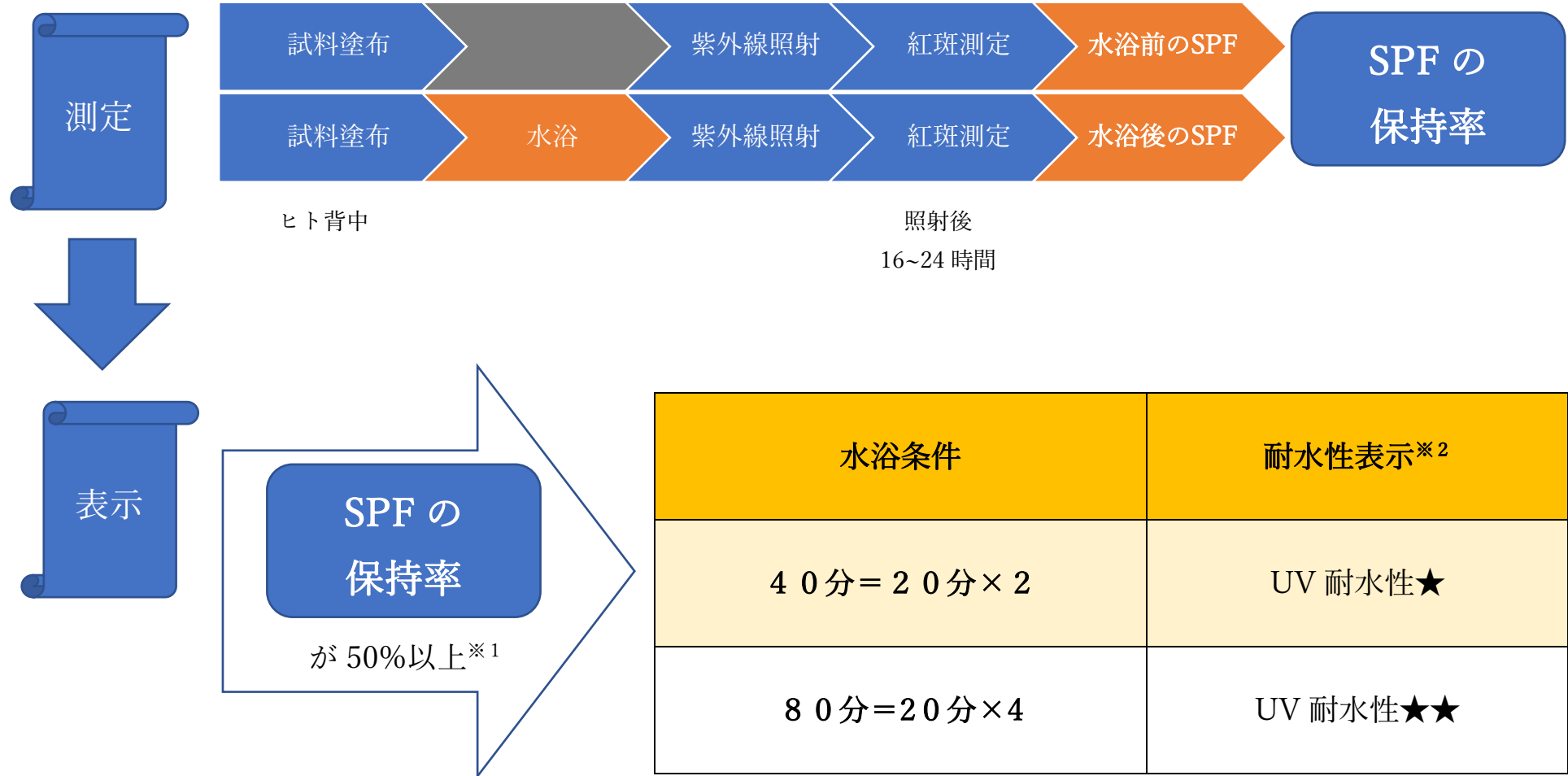
表 2：本基準に関わるスケジュール

時期	事項
2021 年 10 月 15 日	自主基準の発出
2022 年 1 月	本基準に関する説明会の開催
2022 年 12 月 1 日	本基準の運用開始 (本基準に基づく UV 耐水性表示商品の出荷開始)
2024 年 11 月 30 日	本基準の経過措置期間の終了 (各社の基準により耐水性表示を行う製品の出荷の期限)

以 上

紫外線防止効果に対する耐水性測定法基準<2021年版>の概要

本基準は、ISO 18861（2020年9月にIS化された、水浴後のSPFの保持率を測定する方法）により測定した結果に基づき、耐水性表示を行うものである。



※1 正しくは、水浴前後のSPFから得られる耐水性（SPFの保持率）（%Water Resistance）の平均値の90%信頼限界の下限値が50%以上

※2 UV耐水性の表示は、UV耐水性★はUV耐水性☆、また、UV耐水性★★はUV耐水性☆☆と表示しても良い